

保護者の皆様

## 令和元年度 学校評価についての報告

たつの市立龍野小学校  
校長 田中 秀幸

平素は本校教育活動にご理解とご協力をいただき、ありがとうございます。

さて、昨年末にご協力いただきました「保護者アンケート」並びに、本校職員によるアンケート評価と分析により、学校としての自己評価を実施しました。そして先日、学校評議員会を開催し、学校関係者評価として、自己評価の内容について評議員の皆様よりご意見をいただきました。

下記に、主な分析内容と、課題に対する今後の取組をお知らせいたしますのでご覧ください。

皆様からいただいたご意見を参考に、子どもたちの健やかな成長のため、教育活動に一層専念してまいります。今後とも、ご理解とご協力を賜りますよう、よろしくお願いいたします。

### 記

#### 【学校自己評価結果】

##### I 保護者及び職員のアンケート調査からの分析内容 (数字は保護者アンケート項目番号)

○昨年度の保護者アンケートの結果と比較して、

##### ☆肯定的評価 (A, B) の割合が上がった項目

##### 1 学校は、教育方針や教育活動を分かりやすく伝えている。(87.4 →89.4)

保護者と教職員ともに肯定的評価の割合が上がっている。行事や参観授業、オープンスクールなど、直接子どもたちの様子を知る機会も毎月設けられており、校報や学級通信にも、よく目を通していただけている。本年度ホームページの充実に向けた職員研修を実施したので、今後は、ホームページからの情報発信にも努めていきたい。

##### 5 学校は、保護者や地域の声を教育活動に生かそうと努めている。(78.7→83.2)

保護者、教職員ともに評価の割合が上がったのは、日頃からのこまめな家庭連絡や保護者の不安に寄り添った対応に努めていることや、昨年度のアンケートを受けて、2 学期個別懇談会を実施したことなどが、要因として考えられる。

##### 7 学校は、家庭と連携して、子どもたちに基礎的な学力が身につくように努めている。(89.9→91.6)

##### 8 学校は、分かりやすい授業づくりに努め、子どもたちの学習意欲を高めようとしている。

(84.3→92.5) 教

職員は、校内授業研究会を積極的に開いてわかりやすい授業づくりに励んでいる。また、家庭の協力のもと「家庭学習の手引き」を用いて、学校全体で家庭学習の充実に向けた取組がなされていることなどが、高評価をもたらしているのではないかと。通信に子ども達の学習の足跡を掲載したり、懇談会などで保護者と連携をとりながら個別の対応に努めたりしていることも影響していると考えられる。

##### 9 学校は、生命を大切にす心や社会のルールを守る態度を育てることに努めている。(88.2→88.5)

##### 10 学校は、子ども一人一人を大切に、いじめを許さない仲間づくりに努めている。(77.8→83.2)

##### 12 学校は、保護者との連絡や相談を必要に応じて適切に行っている。(90.4→90.7)

##### 13 子どもたちは、安心して元気に登校している。(93.0→94.7)

##### 14 学校は、子どもたちが安全で健康な生活を送れるよう努めている。(93.9→97.3)

毎月1回、全児童を対象に「生活アンケート」を実施し、いじめ等の早期発見に努めている。友だち関係のトラブル等は、その日に解決するようにし、次の日に持ち越さないようにしている。

##### 15 学校は、子ども一人一人の課題に応じた適切な支援や指導ができています。(82.5→85.8)

本年度は、PTA 総会、学級懇談会、教育講演会、入学説明会で、特別支援教育について保護者に話をする機会を設け啓発を行った。教職員も、特別支援教育への理解を深めるための校内研修を実施したり、「龍野っ子を語る会」を開いて具体的な支援について共通理解を図るようにしたりして、学校全体で個に応じた適切な支援や指導ができるよう取り組んでいる。保護者アンケートでは、約7パーセントの否定的な回答があったので、それを真摯に受け止め、今後より一層、一人一人の課題に応じた支援・指導に努めたい。

17 学校は、給食や授業などを通して、子どもたちの望ましい食習慣の育成に努めている。

(93.9→96.0)

保護者の評価は良い評価が多かった。給食では、龍野小なかよし給食、世界の料理の献立、また食物アレルギー対応など、児童が安全に、給食を通じて地域に親しんだり、食を楽しんだりできる工夫がされていることが高評価につながったのではないかと考えられる。

18 学校は、子どもたちの体力増進と健全な生活習慣の育成に努めている。(93.9→97.8)

児童の体力増進のための取組としては、チャレンジマラソンや体育学習でのなわとび等が挙げられる。今後もある一定期間継続して取り組める活動を続けていきたい。また、健全な生活習慣のための取組としては、養護教諭と連携した保健の授業や、「寝る時刻」「起きる時刻」「机に向かう時刻」の3点固定を意識した「生活スケジュール表」の作成などがあげられる。今後も、授業で学んだことを日常生活でいかし、振り返る活動を取り入れていくことで、効果が実感できるような指導をしていきたい。体育学習の充実についても、指導要領の改訂に伴い、授業改善を行っていきたい。

19 学校は、子どもたちの地域に対する誇りや愛着を育てよう努めている。(94.7→97.0)

2年生の町探検や毎年行われるウォークラリー、6年生のガイドなど、地域のことを知ったり、地域のことを発信したりする機会がある。そのため保護者、教師ともに高く評価している。ウォークラリーは、ポイントの場所を回るだけで終わらないような工夫を今後もしていくことで、さらなる地域への愛着につながると考える。

20 学校は、他の学校園との連携や地域の方々との交流を積極的に進めている。(93.5→94.7)

1年生・5年生は保幼小の交流会、6年生は西中校区の4小学校で龍野西中学校へ行き人間関係づくりプログラムを行うなど、学校園間の交流が定着しており、次年度に向けて見通しをもちスムーズに学校生活を送るための良い機会となっている。また、3年生の赤とんぼ調査・やご救出大作戦・味噌作りや、5年生の皮革学習など、地域の方との連携で総合的な学習が進められている。

**★肯定的評価（A，B）の割合が下がった項目**

2 学校は、保護者や地域の人子どもたちの様子を知る機会を設けている。(97.8→95.5)

行事等が平日にあることで様子を見られないという意見も出ている。早めに行事予定を伝えたり、開催時期を分散させたりするなどの改善策が考えられる。授業時数確保のため行事にかかる時間の削減等の課題もあり、今後も引き続きよりよい行事のあり方や子ども達の様子を伝える方法について検討していきたい。

3 教職員は、子どもたちの人権を尊重している。(89.9→85.4)

4 学校は、保護者からの問い合わせや訪問に対して、丁寧に対応している。(93.9→93.4)

教職員は子どもたちの人権を尊重し、子どもたちがのびのびと成長できる環境をつくらなければならない。人権についてより理解を深め、指導、叱責だけでなく、教職員全員が広い視野と寛容性をもち、共通理解のもと、一人一人を大切にできるように努力を続けていきたい。

6 学校は、校舎内外をきれいにし、落ち着いた学習環境の整備に努めている。(90.4→90.2)

ここ数年の結果と比較すると「あてはまる」が年々減っている。原因の一つとして、要望を出しているのにトイレの改善が行われていないことが考えられる。学校としても要望をあげていることは、機会があるたび発信する必要がある。本年度は、図書室の本の整理と書棚の配置換えや、運動場遊具の新設及び補修を実施した。

11 子どもたちは、家族や友だち、地域の人々にすすんであいさつをしている。(83.4→71.2)

あいさつの意味や大切さについて日々指導しているものの、子どもたちに実感として伝わっていないことが考えられる。気持ちの良い挨拶をほめたり、身近な大人が示したりすることで、あいさつをすることの良さを感じとらせ、日常的に家族や地域の人、友だちとのコミュニケーションツールとして自然なあいさつができるようにしていきたい。

#### 1.6 学校は、子どもたちの読書習慣の確立に努めている。(93.5→92.0)

保護者からは、「入学してから本にも興味が出てきて、読めるようになった」との声も聞かれ、読書の時間や図書室の活用で、低学年から読書習慣が確立しつつあるように思われる。本年度は、もっと図書室利用が活発になるように、本棚の整理と貸出のバーコード化を行った。教室では、学級文庫だけでなく読書ポケットを活用することで、いつでも本が手にとれる環境づくりができています。地域のボランティア「お話しホット」による読み聞かせ活動も継続していただいております、読書習慣づくりに大いに役立っています。

## II 主な改善方策と今後の取組 (○数字はアンケート項目番号)

- ・学校行事の移行については、PTAの運営委員会や総会の場で丁寧に説明していく。⑤
- ・体験学習等について、昨年からの移行を実施中。丁寧に説明する。⑤
- ・ホームページの更新講習を実施して更新回数を増やした。さらに定着を目指す。①
- ・授業力向上のため、課題を明確にした各教科の授業研究、研修を実施する。⑧ ⑮
- ・校門で先生になど、特定の場面や人にだけあいさつをしている様子が見られるので、「あいさつをする意味」を伝えたり、褒める場面をもうけたりするなどの指導の工夫をする。⑪
- ・児童会を中心に、児童が主体的に「あいさつ運動」に取り組めるように支援する。⑪
- ・校内のトイレ、運動場トイレの改修について、PTAとも連携して市に要望していく。⑥
- ・「家庭学習と生活の手引き」を定期的に職員間で確認し、職員の共通認識・共通理解・共通行動をすすめるとともに、保護者にも頻繁に働きかける。⑦
- ・子どもの見守り活動については、自治会、青少協、PTAと連携して取り組んでいく。⑭
- ・働き方改革の観点から、水曜日の下校時刻等、日課表の見直しをする。

## 【学校関係者評価結果】

### 学校関係者評価委員会でのご意見(第2回学校評議員会で評価委員会を兼ねて開催)

- 細かく検討されている。今後の取組に頑張ってもらいたい。
- 行事、体験学習の移行については、変更後2、3年は実施した効果をしっかりと検証していくという意識が大切である。
- 次々と新しいことが入ってきて、学校も大変だが、これまでの不易の部分も大切にしていってほしい。
- 今の子どもが大人になったとき、どんな職業があるか分からない時代。先生も新しい教育の波一つ一つに乗っていくのは大変。しかし、先生が、「この子をどんな大人にしたいのか。」というぶれない思いで、一人一人を見てくれているのであれば大丈夫。安心して先生にまかせて良いと思う。
- しっかりと本を持って読む子どもの姿は見ていて気持ちがいい。このような基本の学びをきちっとやってほしい。基礎基本をおろそかにしない。不易の部分である。
- 一緒に遊びけんかもする中で、たくましさや優しさや助け合いが生まれる。休み時間の遊びを大切にしている本校の方針は良いことである。
- 環境で子どもは変わる。運動場トイレ等の児童に関わる施設の改修には、PTA、地域も協力して要望していくことが大切である。
- PTAのPとTがしっかりと協力している。Pの力は大きい。地域もしっかりと学校を支えている。これからも協力を大切にしていかなければならない。
- 家庭が「今日もがんばって来いよ。」と送り出すこと、子どもが喜んで学校に来ていることが大事。
- 自分の子も隣の子も同じという人が少なくなっているのではないか。あいさつについてもそう。個の時代になってきていると感じる。子どもは地域の財産である。
- 人を大切にする。活動を通して思いやりの心が育つような人権教育を。

## 2019（令和元）年度 学校教育についての保護者アンケート結果

2019年12月実施

※保護者226人の方から回答をいただきました。ありがとうございました。

A:あてはまる B:だいたいあてはまる C:あまりあてはまらない D:あてはまらない E:わからない (%)

NO	評 価 内 容	A	B	C	D	E
1	学校は、教育方針や教育活動を分かりやすく伝えている。	33.2	56.2	8.0	1.3	2.2
2	学校は、保護者や地域の方が子どもたちの様子を知る機会を設けている。	56.6	38.9	4.4	0.9	0.0
3	教職員は、子どもたちの人権を尊重している。	29.6	55.8	6.2	0.0	9.3
4	学校は、保護者からの問い合わせや訪問に対して、丁寧に対応している。	50.9	42.5	3.1	0.9	3.5
5	学校は、保護者や地域の声を教育活動に生かそうと努めている。	27.0	56.2	8.0	1.3	8.4
6	学校は、校舎内外をきれいにし、落ち着いた学習環境の整備に努めている。	35.8	54.4	6.6	2.7	1.3
7	学校は、家庭と連携して、子どもたちに基礎的な学力が身につくように努めている。	30.5	61.1	6.6	1.3	1.3
8	学校は、分かりやすい授業づくりに努め、子どもたちの学習意欲を高めようとしている。	31.9	60.6	4.9	1.3	2.2
9	学校は、生命を大切にする心や社会のルールを守る態度を育てることに努めている。	31.9	56.6	7.1	0.9	4.4
10	学校は、子ども一人一人を大切にし、いじめを許さない仲間づくりに努めている。	30.1	53.1	7.5	0.9	9.3
11	子どもたちは、家族や友達、地域の人々にすすんであいさつをしている。	26.1	45.1	21.7	4.9	3.1
12	学校は、保護者との連絡や相談を必要に応じて適切に行っている。	40.3	50.4	6.2	0.0	4.0
13	子どもたちは、安心して元気に登校している。	49.1	45.6	4.4	0.4	1.3
14	学校は、子どもたちが安全で健康な生活を送れるよう努めている。	45.1	52.2	2.7	0.4	0.4
15	学校は、子ども一人一人の課題に応じた適切な支援や指導ができている。	32.3	53.5	6.2	0.9	8.0
16	学校は、子どもたちの読書習慣の確立に努めている。	41.6	50.4	5.3	1.3	2.2
17	学校は、給食や授業などを通して、子どもたちの望ましい食習慣の育成に努めている。	46.9	49.1	3.1	0.0	1.8
18	学校は、子どもたちの体力増進と健全な生活習慣の育成に努めている。	48.7	49.1	1.8	0.0	1.3
19	学校は、子どもたちの地域に対する誇りや愛着を育てるよう努めている。	55.8	41.2	3.5	0.4	0.0
20	学校は、他の学校園との連携や地域の方々との交流を積極的に進めている。	51.3	43.4	2.7	1.3	2.2

(小数点以下の処理の関係で、A～Eの数値の合計は100%にはなりません。)